

採点基準 世界史

- ※ 以下の加点ポイントは目安です(加点ポイントは< >でくり、得点として+1を付けている)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。
- ※ 学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう！

問題 I 中世前期のイタリア半島 (配点 50 点)

問 2 ヴァンダル 1 点のみ

問 4 a) 4 点満点

- ① 東ローマ帝国がローマ帝国を継承する存在になったこと…1 点
- ② 公用語がラテン語であったこと…2 点
- ③ 7 世紀には、支配する地域がギリシア人地域だけになったこと…1 点
- ④ 公用語がギリシア語になったこと…2 点

b) 12 点満点 ※⑤がなければ満点にしない

- ① (7 世紀に) 諸勢力による進出(対外的危機)があったこと…2 点
 - ② 進出した勢力: ササン朝…2 点
 - ③ : イスラーム勢力(正統カリフの政権・ウマイヤ朝)…2 点
 - ④ : ブルガール人…2 点
 - ⑤ 名称: 軍管区制(テマ制)…2 点
 - ⑥ 帝国をいくつかの軍管区に分けたこと…1 点
 - ⑦ 軍管区の長官に軍事・行政の権限を与えたこと…2 点
- ※「様々な権限」など曖昧な表現は 1 点のみ
※「軍事の権限」「行政の権限」だけはそれぞれ 1 点のみ
- ⑧ 軍管区の兵士には土地を与えた(屯田兵とした)こと…1 点
 - ⑨ 軍管区制はヘラクレイオス 1 世の時代に始まったとされていること…1 点

問 5 6 点満点

- ① イエスに弟子(十二使徒)がいたこと…2 点
 - ② ①の筆頭者がペテロだったこと…2 点
 - ③ ローマ教会はペテロが創建したとされていたこと…1 点
- ※「ローマはペテロの殉教の地であった」なども可
- ④ ローマ教皇が(ペテロの)後継者という地位を主張したこと…2 点
 - ⑤ レオ 1 世(またはグレゴリウス 1 世が)ローマ教皇の権威を高めたこと…1 点

問 6 ピピン 3 世, ピピン短軀王 可

問7 12点満点

<教皇領の消滅> ※6点まで加点

- ① 教皇国家が消滅したのは、1870年であったこと…1点
- ② プロイセン＝フランス（普仏）戦争の時であったこと…2点
- ③ ②の時に、フランス軍がローマから移動したこと…1点
- ④ ②の時に、教皇領を併合したこと…2点
- ⑤ ④はイタリア王国が行ったこと…2点
- ⑥ 以後、教皇とイタリア政府の対立が続いたこと…1点

<教皇領の復活> ※6点まで加点

- ⑦ 教皇国家が復活したのは、1929年であったこと…1点
- ⑧ （復活させたのは）ムッソリーニ政権であったこと…2点
- ⑨ ラテラノ（ラテラン）条約が結ばれたこと…2点
- ⑩ （復活した教皇国家は）ヴァチカン市国と呼ばれたこと…2点
- ⑪ ヴァチカン市国はローマ市内にあったこと…1点

※「ヴァチカン市国はローマ教皇を元首とした」なども可

問9 6点満点

- ① 教皇（キリスト教会）はローマ皇帝の保護・支配のもとにあったこと…1点
- ② ビザンツ（東ローマ）皇帝が聖像禁止令を発布したこと…2点
- ③ 聖像禁止令は8世紀前半（726年）に出されたこと…1点
- ④ ②の皇帝はレオン3世であったこと…1点
- ⑤ ③以降、ローマ教皇はビザンツ皇帝と対立したこと…2点
- ⑥ 対立の要因は、ローマ教会がゲルマン人の布教に聖像を利用していたこと…1点
- ⑦ ローマ教皇は政治的保護者を必要としたこと…2点
- ⑧ ⑦のため、フランク王国と手を結んだこと…1点

問題II 儒教の歴史（配点50点）

問3 8点満点

- ① 西域の〔亀茲（クチャ）〕出身者が仏教を伝えたこと…1点
- ② 人名：仏図澄（ブドチンガ）…2点
- ③ ②は多くの寺院を建立したこと…1点
- ④ 人名：鳩摩羅什（クマーラジーヴァ）…2点
- ⑤ ④は、仏典を漢訳したこと…1点
- ⑥ ②や④の活動で仏教が盛んに信仰されたこと…1点
- ⑦ 雲崗で石窟寺院が開かれたこと…1点
- ⑧ ⑦が平城（現大同）の近郊であったこと…1点
- ⑨ 竜門で石窟寺院が開かれたこと…1点
- ⑩ ⑧は洛陽の近郊であったこと…1点

※敦煌の石窟寺院に関しては加点しない

問6 8点満点

- ① 金が北宋の都の開封を占領したこと…2点
※「靖康の変が起こった」なども可
- ② 徽宗や皇帝の欽宗が北方に連れ去られたこと…1点
- ③ 南宋で、主戦派（岳飛）と和平派（秦檜）が対立したこと…1点
- ④ 金と和議（紹興の和議）を結んだこと…2点
- ⑤ ④で淮河を境界としたこと…2点
- ⑥ 南宋は金に臣下の礼をとったこと…2点
- ⑦ 南宋は金に銀・絹を贈ることを強いられたこと…2点

問7 ヤンバン 1点

問8 4点満点 ※①と④がなければ満点にしない

- ① 六諭を定めたこと…1点
- ② ①は儒教に基づいていること…1点
- ③ ①の具体的内容：父母への孝順，長上への尊敬など…いくつ書いても1点
- ④ 里老人が任命されたこと…1点
- ⑤ ④が村落を巡回して六諭を唱えたこと…1点
- ⑥ ④は毎月6回，六諭を唱えたこと…1点
- ⑦ 村落行政制度である里甲制の維持を目指したこと…1点

問11 16点満点

- ① 辛亥革命後（1910年代後半）の運動の主体は知識人であったこと…2点
- ② ①の啓蒙運動を新文化運動と呼ぶこと…2点
- ③ 雑誌『新青年』が刊行されたこと…1点
- ④ ③は陳独秀が刊行したこと…1点
- ⑤ ③で，欧米の思想（民主・科学・自由など）が紹介されたこと…2点
- ⑥ ③で，儒教が批判されたこと…2点
- ⑦ 白話運動（文学革命）が展開されたこと…2点
※「白話（口語）文学」なども可
- ⑧ ⑦は胡適が提唱したこと…1点
- ⑨ 魯迅が小説を発表したこと…1点
- ⑩ ⑩が社会批判，中国人の精神的改革を目指したこと…1点
- ⑪ ⑪の具体例：『狂人日記』『阿Q正伝』…いくつ書いても1点
- ⑫ マルクス主義が紹介されたこと…1点
- ⑬ ⑫は李大釗が行ったこと…1点
- ⑭ 新文化運動の中心の一つが北京大学であったこと…1点
- ⑮ 新文化運動が五・四運動に影響を与えたこと…2点
- ⑯ 新文化運動の影響で中国共産党が成立したこと…1点

問題Ⅲ ヨーロッパの主権国家体制 (配点 50 点)

問 1 8 点満点

- ① ルター派の信仰が公認されたこと…2 点
- ② カルヴァン派の信仰は認められなかったこと…1 点
- ③ 宗派を選ぶ権利が認められたのは諸侯（帝国都市）だけであったこと…3 点
※「諸侯が信仰する宗派を選択した」なども可
- ④ 領民は諸侯の選んだ宗派に従うこと…3 点
- ⑤ 個人の信仰の自由は認められなかったこと…2 点
- ⑥ ルター派の領邦では領邦教会制が成立したこと…2 点

問 4 10 点満点 ※①がなければ満点にしない

- ① 戦争の名称：三十年戦争…2 点
- ② ①のきっかけはハプスブルク家のカトリック化政策であったこと…2 点
※「ベームンの新教徒の反発であった」ことを述べても可
- ③ はじめ三十年戦争は、宗教戦争であったこと…2 点
- ④ フランスは旧教国（カトリック）であったこと…2 点
- ⑤ フランスの参戦によって覇権をめぐる国際戦争になったこと…2 点
- ⑥ ハプスブルク家とフランスによるヨーロッパの覇権争いであったこと…2 点

問 7 8 点満点

- ① イギリスの宗教改革はヘンリ 8 世が主導したこと…1 点
- ② 国王至上法（首長法）を定めたこと…1 点
- ③ ②で国王をイギリス国内の教会の首長としたこと…2 点
- ④ イギリス国教会を成立させたこと…2 点
- ⑤ カトリック教会から離脱（教皇と絶縁）したこと…2 点
- ⑥ エリザベス 1 世時代の統一法（第 3 回統一法）でイギリス国教会が確立したこと…2 点

問 8 14 点満点

- ① イギリスが航海法を発布したこと…2 点
- ② ①はクロムウェル（政権）が出したこと…1 点
- ③ 航海法はオランダ（の中継貿易）に打撃を与えることが目的であったこと…2 点
- ④ 航海法の結果、(第 1 次) イギリス＝ オランダ戦争が起こったこと…2 点
- ⑤ 名誉革命が起こったこと…2 点
- ⑥ ⑤の内容：ジェームズ 2 世の娘メアリとその夫オランダ総督ウィレムに援助を求めたこと…1 点
- ⑦ ⑤でジェームズ 2 世が追放されたこと…1 点
- ⑧ ⑤の後、ウィレム夫妻が「権利の宣言」を承認したこと…1 点
※「権利の章典が制定された」なども可
- ⑨ ⑤の後、ウィリアム 3 世（オランダ総督）とメアリ 2 世が王位に就いた（共同統治した）こと…2 点
- ⑩ イギリスとオランダが（事実上の）同君連合となったこと…2 点
- ⑪ イギリスとオランダの対外政策がフランスに対抗するものになったこと…2 点

IV 第二次世界大戦後のインドネシア (配点 50 点)

※7 行目に入っている答案を採点対象とする。

※指定語句は指定された形で用いていない場合は加点しない。

※基本的に各ポイントは 2 点 (場合により 3 点, 1 点もある)

<1 第二次世界大戦直後から冷戦の激化>

- ① 第二次世界大戦中, インドネシアは日本の占領下にあったこと…1 点
- ② インドネシアはオランダから独立したこと…2 点
- ③ スカルノが大統領になったこと…3 点
- ④ 第二次世界大戦後の国際秩序は冷戦と呼ばれること…2 点
- ⑤ ④は, 資本主義陣営と社会主義陣営が対立したこと…2 点
※「東西陣営」などは 1 点
- ⑥ ④は, トルーマン=ドクトリン (マーシャル=プラン) が発端だったこと…1 点
- ⑦ ④はヨーロッパで始まったこと…1 点
- ⑧ ④は世界各地に拡大したこと…1 点

<2 第三勢力の形成>

- ① 冷戦のさなか, 第三勢力が台頭したこと…2 点
- ② 第三勢力は, 両陣営のどちらからも距離を置いていたこと…2 点
- ③ ネルーと周恩来が会談したこと…1 点
※「平和五原則が発表された」なども可
- ④ アジア=アフリカ会議が開催されたこと…3 点
- ⑤ アジア=アフリカ会議はバンドンで開催されたこと…2 点
- ⑥ ④は 1955 年に開催されたこと…1 点
- ⑦ ④で平和十原則が採択されたこと…1 点
- ⑧ スカルノが第三勢力の指導者の一人となったこと…2 点
- ⑨ 第三勢力の指導者としてネルー, ナセルらがいること…1 点
- ⑩ 第 1 回非同盟諸国首脳会議が開催されたこと…1 点
- ⑪ 第三勢力の国際政治での影響力は大きくならなかったこと…1 点

<3 スカルノ政権>

- ① スカルノは独裁体制を強めたこと…2 点
- ② スカルノの支持基盤: 民族主義政党 (インドネシア国民党) …2 点
- ③ スカルノの支持基盤: イスラーム政党…2 点
- ④ スカルノの支持基盤: インドネシア共産党…2 点
- ⑤ ②~④の協力体制はナサコム体制と呼ばれること…2 点
- ⑥ インドネシアは国際連合から脱退したこと…1 点
- ⑦ スカルノが中国・ソ連などの社会主義諸国寄りの外交政策をとったこと…2 点
- ⑧ 新興の独立国は資本や技術が不足し, 経済発展が進まなかったこと…1 点
- ⑨ インドネシアには日本の戦争賠償や経済援助があったこと…2 点
- ⑩ インドネシアの経済発展は十分でなかったこと…2 点

<4 九・三〇事件とスハルト政権>

- ① 九・三〇事件が起こった（軍部のクーデタがきっかけだった）こと…1点
- ② ①は1965年に起こったこと…1点
- ③ ①でスカルノが失脚したこと…2点
- ④ ①でスハルトが権力を掌握したこと…2点
※「スハルトが大統領になった」は、1968年の出来事なので1点
- ⑤ ④の背景には軍部の支持があること…1点
- ⑥ スハルトは共産党勢力を一掃したこと…2点
- ⑦ スハルトは開発独裁と呼ばれる体制をとったこと…3点
- ⑧ ⑦のもと、外国資本を積極的に導入したこと…2点
- ⑨ 反対勢力を抑えたこと…2点
- ⑩ 国家主導の経済開発が行われたこと…2点
- ⑪ 貧富の差が拡大したこと1点
- ⑫ スハルトはアメリカ合衆国よりの外交政策をとったこと…2点
- ⑬ 東南アジア諸国連合が結成されたこと…2点
- ⑭ ⑬はベトナム戦争の深刻化によりつくられたこと…2点
- ⑮ ⑬の加盟国：マレーシア・シンガポール・タイ・フィリピン…1点
- ⑯ ⑬は、はじめ反共同盟であったこと…2点
- ⑰ ⑬は、しだいに地域協力を目指したこと…2点

<4 論理構成点> (=上記加点ポイントの他に、論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。

論述問題の解答は、単に歴史用語をつなげればよいというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けている。解答欄の右上欄外に、+1または+2を付けている。加点されない場合は数字なし)

- ① スカルノ政権とスハルト政権の内容が、それぞれ1つ以上明記されていること…1点
- ② インドネシア外交の変遷が述べられていること…1点

以上